

令和7年度特別展



# 縄文時代の おわり

クマとイネと土偶



土偶  
弘前市  
砂沢遺跡



クマ形土製品  
二戸市  
上杉沢遺跡



会場 三内丸山遺跡センター  
企画展示室

観覧時間 9:00~18:00 (7/18~9/30)  
9:00~17:00 (10/1~10/5)  
※入場は閉館の30分前まで

観覧料 一般990円(790円)  
大学生等 500円(400円)  
高校生以下無料

( )内は20名以上の団体料金  
※特別展観覧料で遺跡を含む常設展もご覧いただけます。

休館日 8月25日(月)、9月29日(月)

主催 三内丸山遺跡センター

2025.  
7.18(金) -  
10.5(日)



令和7年度特別展

# 縄文時代のおわり

## クマとイネと土偶

「亀ヶ岡文化」は北日本に広がった最後の縄文文化です。水田稲作が西日本で開始された頃、青森県は亀ヶ岡文化の後半期でした。西日本に遅れること数百年、青森県では砂沢式土器を作った人々によって水田稲作が開始されました。

本展では、亀ヶ岡文化の人々が水田稲作を導入した後も、クマの造形や土偶を用いた祭祀を継続するなど、縄文時代の伝統が色濃く残る独特の弥生文化が成立したことを紹介します。



砂沢遺跡水田跡 (弘前市教育委員会)

### 1 縄文のおわりと弥生のはじまり

北東北で縄文時代から弥生時代になっても変わらないもの、新たに導入されたものを紹介します。

### 2 亀ヶ岡系弥生文化へ

本県の最初の弥生土器である砂沢式土器は、最後の縄文土器である亀ヶ岡式土器の文様を引き継いでおり、縄文文化の伝統上にあることを紹介します。

#### 【展示資料】

●X 字形土偶 (観音林遺跡・五月女菰遺跡) ●砂沢式土器 (砂沢遺跡)



砂沢式土器／砂沢遺跡 (弘前市)／重要文化財

### 3 生き続ける縄文の心

土偶やクマの造形など、土器の他にも縄文時代から弥生時代へと受け継がれたものがあつたことを紹介します。

#### 【展示資料】

●クマ形土製品 (上杉遺跡) ●土偶 (砂沢遺跡・津山遺跡・薬師遺跡)



土偶／砂沢遺跡 (弘前市)／弘前市指定有形文化財

### 4 新たな文化

北東北の砂沢式土器と西日本系の遠賀川式土器が分布する地域では、イネの情報が共有されていたと考えられます。西の弥生文化要素の影響を受ける一方で、青森県では海峡をはさんだ北海道南部からも文化の影響を受けていたことを紹介します。

#### 【展示資料】

●遠賀川系土器 (中穴牛遺跡) ●挟入柱状片刃石斧 (荒谷遺跡) ●炭化米 (小山田(2)遺跡)



遠賀川系土器／中穴牛遺跡 (二戸市)

### 5 水田の広がり

亀ヶ岡文化の人々が水田稲作を試行・開始した後、津軽平野南部の浅瀬川流域では、安定的な水田稲作に至りました。この地で成立した独特の弥生文化、その後の時代の様相についても紹介します。

#### 【展示資料】

●木製農具・土器 (垂柳遺跡) ●続縄文土器・古式土師器 (猪ノ鼻(1)遺跡)

参加無料 同時開催!!

※ギャラリートークの参加は、別途特別観覧料が必要です。  
※講座・体験への参加後に遺跡や展示を見学される場合は別途観覧料が必要です。  
※申込方法等詳細は三内丸山遺跡ホームページをご覧ください。

7/19(土)~9/28(日)  
期間中の土・日・祝 11:00~20分程度  
※7/26、8/9、8/23、8/24、9/21を除く

ギャラリートーク

定員15名 (申込不要、先着順)

8/9(土)  
9:30~12:00

さんまる縄文体験「土器を作ろう」10/18(土)との2回コース  
定員20名 (事前申込制、先着順)

7/19(土)・20(日)

三内丸山縄文夏祭り

9/13(土)~15(月)祝

さんまるJOMONの日

7/26(土)  
10:00~11:30

さんまる縄文学講座①

テーマ「亀ヶ岡文化から弥生文化へ」  
定員30名 (事前申込制、先着順) 講師: 永嶋 豊 (三内丸山遺跡センター)

8/23(土)  
10:00~11:30

さんまる縄文学講座②

テーマ「東北地方南部から見た弥生文化」  
定員30名 (事前申込制、先着順) 講師: 斎野裕彦 (日本災害・防災考古学会)

お問い合わせ

三内丸山遺跡センター

TEL.017-766-8282

〒038-0031 青森県青森市大字三内字丸山305

